

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2008/10/20号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第316回例会報告(2008年9月29日)

- ・従前の予定を変更して、国際ボランティア活動に関する歓談が行われました。
- ・当クラブのWCS事業(モンゴルに本を送る事業)に係る重要な仕事の1つである現地調査に赴いてくださった田中会員から、WCS事業の成功と現地の様子について報告がありました。
- ・ゲストの方からベトナム等の東南アジアにおけるボランティア活動のお話もいただきました。
- ・国際的なボランティア活動について考える素材を得られた大変有意義な例会でした。また、一人で現地調査を行ってくれた田中さん、お疲れ様でした。

第317回例会予定(2008年10月3日)

- ・街頭献血活動(移動例会)

第318回例会予定(2008年10月20日)

- ・職業奉仕を考える(職業奉仕委員長)

環境問題基礎知識(第11回:肉食と環境問題)

国連食糧農業機関(FAO)の資料によれば、世界の現在の食肉生産量は約300万tです。1960年では約60万tでした。ここ半世紀で約6倍になっています。FAOの試算では、2050年代には600万tになる見込みだということです。これほど食肉生産量が増加し続けている原因は、世界的に食生活の欧米化が進んでいる為です。最近は特に中国でハンバーガーチェーン店舗数が急速に増えたことにより牛肉の消費量が増えているということです。

実は肉食は環境問題と密接な関係があります。肉食は、食糧不足や水不足に拍車をかけ、自然林の減少を促進し、温室効果ガスを大量に排出します。家畜用の飼料の生産で使用されている農薬や抗生物質、ホルモン剤が生体濃縮されて人間が摂取することになるという問題も指摘されているところです。

